

# 令和8年度第1回笠郷地域創生自治町民会議 総会 議事録

1. 開催日時 令和8年4月26日(日) 午前9時
2. 開催場所 笠郷自治会館 1階 研修室
3. 出席者 全47名中 出席41名 欠席6名(委任状なし)
4. 来賓  
岐阜県議会議員 村下 貴夫 様  
養老町長 川地 憲元 様  
養老町議会議員 西脇 康 様  
(オブザーバー 養老町役場 総務課 課長補佐 中島 美佳 様  
企画財政課 課長補佐 伊藤 良彦 様  
企画財政課 係長 古川 恭史 様  
企画財政課 松永 貴普 様)
5. 養老町民憲章 朗唱  
司会者(事務局長 佐藤富士男)の総会開始の挨拶終了後、  
総務部会長 田中 和一氏 の音頭により養老町民憲章を出席者全員で朗唱
6. 総会成立報告  
事務局より、今日の出席者は委員の過半数のため、規約13条に照らして本総会は成立することを報告。
7. 開会挨拶  
笠郷地域創生自治町民会議 副会長 藤井 輝光氏が挨拶  
今年には笠郷地域創生自治町民会議発足10周年目にあたる。今後の10年の事業計画を決める総会になるので、事業計画と予算について十分に審議していただきたいと述べ、開会挨拶を行った。
8. 会長挨拶  
笠郷地域創生自治町民会議 会長 伊藤 博文氏 が挨拶  
本年度は10周年を迎えるので笠郷自治町民会議設立から10年間の評価を行った。今後少子高齢化は更に進み令和12年4月には小学校が2校に統合する計画もあるが、新しく次の10年の事業計画を立てたので、十分審議していただきたいと述べる。
9. 来賓挨拶  
岐阜県議会議員 村下 貴夫氏が挨拶、続いて  
町議会議員 西脇 康氏が挨拶した。
10. 町役場企画財政課 オブザーバー挨拶  
企画財政課 課長補佐 伊藤 良彦 様  
(企画財政課 係長 古川 恭史 様、遅れて出席)  
企画財政課 松永 貴普  
総務課 課長補佐 中島 美佳 様
11. 10年間の成果をビデオで報告  
事務局長が、「前会長の細川一氏による10年間の成果ビデオがあるので視聴ください」と述べビデオを流す。
12. 来賓挨拶(所用で遅れる)  
養老町長 川地 憲元氏が挨拶
13. 議長選出

事務局より、議事進行の公平性を担保するため、議長を選出するが、どのような方法で選出したらよいか意見を求めた。

(事務局一任の声あり)

事務局一任の声があるが、事務局一任の案で良いか採決を求めた結果、賛成多数により事務局一任となる。

事務局は、名簿13番で下笠副区長の 日比 哲也氏を選出し、日比 哲也氏は議長席に着いた。

#### 14. 議事録署名者の選出

議長挨拶後、議長は議事録署名者2名の選出方法を提案する。

(「議長一任」の声あり)

他に案がなく、議事録署名者選出まで議長一任でよいか賛否の結果、賛成多数で人選は議長一任となった。

議長は、名簿31番で船附こども園長の 黒田 佳子氏と、名簿19番で町消防団笠郷副分団長の田中 大博氏を選出し、黒田 佳子氏と、田中 大博氏は、議長より議事録完成後に議事録への署名を依頼された。

#### 15. 議事 第1号議案 令和8年度改選役員承認の件

議長が、第1号議案の説明を事務局に求める。

事務局は、3ページ表の通り8名の役員の2年の任期を承認していただきたいと述べた。

議長は、質問・意見等がないかを全員に求めた。

公民館長 田中 和一氏から「名簿で2名の方の電話番号が記載されていない理由は何か」と質問される。

事務局長は、「電話番号掲載了解の連絡がまだ届いていないためと思われる」と述べる。

子ども会育成会長の西脇 孝子氏が「電話番号掲載了解されれば連絡する」と答える。

議長は他に質問・意見はあるかと尋ねたが何もなかったため、挙手による賛否承認をして、過半数の挙手による賛成により、1号議案は承認された事を報告した。

#### 16. 議事 第2号議案 令和7年度事業報告、収支決算報告、会計監査報告承認の件

議長が、令和7年度事業報告、収支決算報告、会計監査報告についての内容説明を事務局に求める。

事務局は、令和7年度事業報告についての説明を4～5ページの資料に基づき順に説明した。

例年と異なる点は、昨年度は県の政策オリンピックに参加して県から25万円、町から13万5千円の防災訓練用補助金を頂いて事業ができた結果、収入については県補助金25万円、町交付金482万円、自己資金253万円の活動資金計733万円の事業規模で、各部会とも多数の事業を行ったと説明した。

議長は次に監事に会計監査承認のために説明を求めた。

監事の西脇 君男氏は、会計帳簿を確認した結果6ページの資料の通り会計監査に間違いがない事を説明した。

議長は、質問・意見等がないかを全員に求めた。

公民館長 田中 和一氏から、「町民会議は町から交付金としてお金をもらって事業を行っているが、人件費だけに限り、余った分は返さなければならないのか」と、町長に質問。

町長は「町民会議規約に人件費の残余分は町へ返還することが決められている。規約で決まっているので従ってもらうしかない。」と回答した。

議長は他に質問・意見はあるかと尋ねたが何もないため、挙手による賛否承認をして、過半数の挙手による賛成により、2号議案は承認された事を報告した。

#### 17. 議事 第3号議案 令和8年度事業計画案、収支予算案承認の件

議長が、令和8年度事業計画案と、収支予算案の内容説明を事務局に求める。

事務局は7ページの事業計画案を説明し、本年度の新規事業は安否確認タオルを全戸配布、総会の後に講演会を行う、笠郷地域まちづくり計画報告書を全戸配布する、の3事業を計画していること。令和8年度予算について町交付金が約630万円と昨年度予算に対して約160万円多い。(内訳として地域まちづくり計画策定事業費として44万円、10周年記念事業費として38万円、熱中症対策費として65万円追加されている。)自己資金は220万円である。(内訳は、笠郷地域振興費が130万円、繰越金が20万円、積立金取り崩しが70万円)、交付金、自己資金を合わせた合計850万円の事業規模で、予算額では令和7年度に対し130万円多いと説明した。今年は笠郷地域創生自治町民会議発足10周年を迎えたので発足10年間の総括をし、今後の10年の事業計画を構築すると述べた。

議長は、意見、質問を求めた。

栗笠区長の桑原富夫氏が「教育・文化・商工部会の摘要欄に瓢箪苗育成とあるが、令和7年度から瓢箪苗育成は取り止めていると聞いているので間違いではないか。」と質問。

事務局は、「その通り間違いです。瓢箪苗育成は間違いなので抹消願います。」と回答

議長は他に質問・意見はあるかと尋ねたが声がないので、挙手による賛否承認を求める。その結果、過半数の挙手による賛成があり承認されたことを報告した。

#### 18. 議事 第4号議案 「まちづくり計画書」承認の件

議長が、「まちづくり計画書」についての内容説明を事務局に求める。

事務局は、この先10年の計画書はこれまでの10年のまちづくり計画書に、赤字の分部を手直して作成したものですと述べる。

議長は、質問・意見等がないかを全員に求めたが何もないため、挙手による賛否議決結果、過半数の挙手による賛成により、4号議案は承認された事を報告した。

#### 19. 議長解任

議長は、「全議事が終了したので議長を解任させていただきます。」と述べ、議長席を退席

#### 20. 閉会の挨拶

教育・文化・商工部会副会長 川地 悦郎氏 が挨拶

「十分な審議頂き有難うございました。これにて終了します。」と締めくくり閉会した。(閉会時間 10時 30分)

以上、令和8年度笠郷地域創生自治町民会議 総会 の議事内容を佐藤富士男(事務局長)が議事録としてまとめました。

上記総会で選任された議事録署名者(2名)が、議事録の内容が正確なことを確認し署名捺印します。

議事録署名者

上記総会で選任された議事録署名者(2名)が、議事録の内容が正確なことを確認し署名捺印します。

議事録署名者

令和 8 年 5 月 7 日

団体名 船附こども園園長

氏名 黒田 佳子

黒田 佳子



令和 8 年 5 月 8 日

団体名 町消防団笠郷副分団長

氏名 田中 大博

田中大博

